

高浜地区

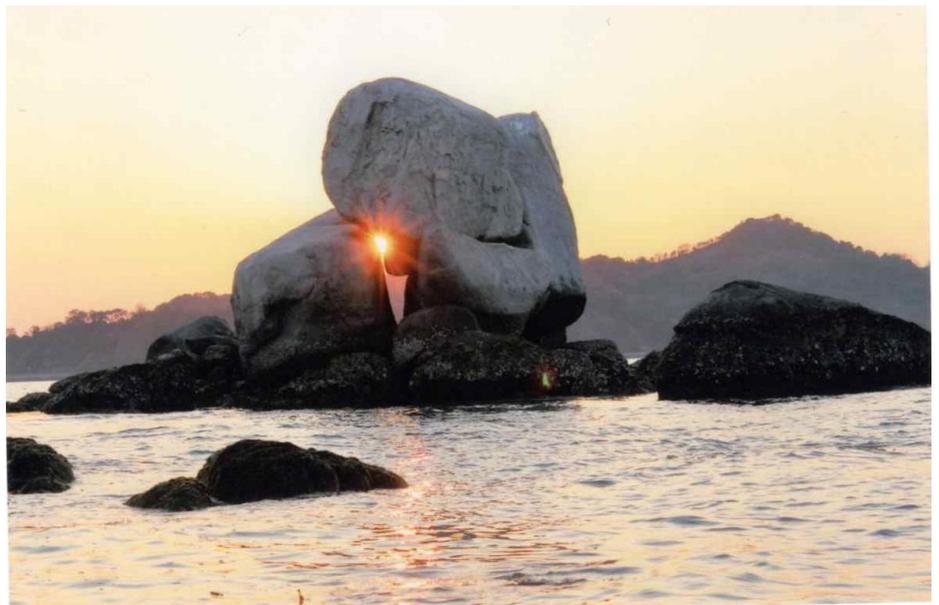
第2期地域福祉活動計画

(令和8年～令和12年)

海の高浜 福祉はひとつ



高浜地区社会福祉協議会
(高浜地区地域福祉活動計画策定委員会)



白石の鼻巨石群とは？

白石の鼻巨石群とは高浜6丁目の白石の鼻海上にある「三ツ石(三ツ岩)」を中心として、白石龍神社周辺の「亀石」、「夏至の三ツ石」などの巨石の集合体を指します。

古くから龍神社が祀られ、古代より神聖で崇敬が厚かった場所です。

2008年に、この白石の鼻の巨石と、春分(秋分)、夏至、冬至などの太陽の軌道との関係性が発見され、古代天文台の機能があると言われていました。

当初、高浜公民館のメンバー等を中心に始めた、春、夏、秋、冬の夕日の鑑賞会は17年以上にわたり69回を数え、恒例の行事となってきました。

現在は、太陽との関係性だけではなく、月の軌道や興居島をも含んだ周辺地域一帯の研究も進んでおり、全国的にも高い評価を受けております。

私たちは、この素晴らしい場所を広く県内外や後世へ伝える活動をしています。

是非、一度、白石の鼻へお越しください。

太陽と巨石の絶景が見られるでしょう。

(登録 NPO 白石の鼻巨石群振興会)

地域福祉活動計画の策定にあたって

令和8年3月

高浜地区社会福祉協議会では、松山市社協・なもしプラン を基本として、第1期地域福祉活動計画が、平成19年6月に策定されました。

それから、約17年の歳月がたち、その間に松山観光港の環境の変化、少子高齢化に伴う人口減少と過疎化、コロナによる社会活動の縮小、高浜豪雨災害 などが起こりました。

この時期に、第2期地域福祉活動計画を立てることになりました。

2期計画の策定にあたって、松山市の地域福祉に関する計画

(このまちのえがおプラン) と相互に連帯し、互いに補完・補強しあう関係になるよう考慮しました。(1) 地区社協の基盤整備 (2) 福祉学習とボランティア (3) 在宅福祉・生きがい介護予防サービス (4) 関係団体との協働・連携 (5) その他の5項目を基本とし、計画を立てました。

第1期では、海の高浜・福祉はひとつ を基本理念とし、助け合いの気持ちをもって、高浜住民が一つになって動くことを基本としていました。

第2期でもこの理念を継承し、地区民協会、公民館、自主防災連合会、町内会連合会、まちづくり協議会、高浜地区地域学校協働本部・Lala 梅津寺・高浜わいわい食堂実行委員会・すみれ野ノラネコ対策隊・高浜地区青少年健全育成連絡協議会、高浜おやじの会等区内すべての団体と連携して、子どもから高齢者まですべての高浜地区住民が、幸せになることを考えて作成しました。

最後に、第2期地域福祉活動計画の策定にご協力を頂きました、松山市社協 その他の皆様方に、厚くお礼申し上げます。

高浜地区社会福祉協議会
会長 水野庄市



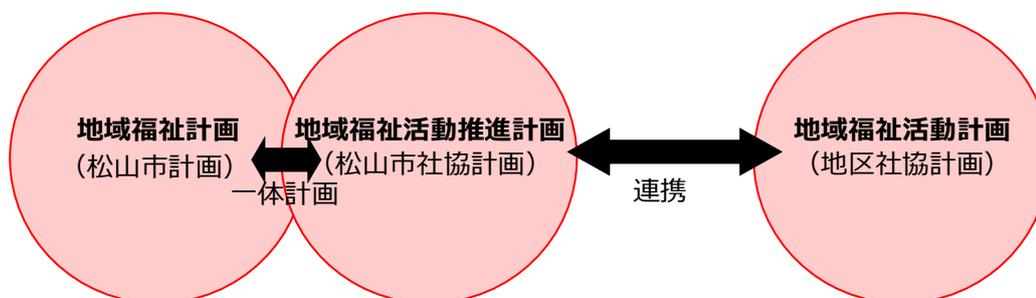
目 次

松山市における地域福祉に関する計画の連携と比較	P1
地域カルテ	P2～P3
高浜地区地域福祉活動計画	P4～P6
高浜地区社会福祉協議会の活動紹介	P7～P14
高浜公民館の活動紹介	P15～P18
高浜地区防災の活動紹介	P19～P24
高浜地区の神社・仏閣	P 25
高浜地区地域福祉活動計画策定委員会の開催状況	P26
高浜地区地域福祉活動計画策定委員会名簿	P27

松山市における地域福祉に関する計画の連携と比較

地域福祉の推進を図るためには、下記の計画が内容を一部共有したり、策定過程を共有する等、相互に連携し一体となって進めることが重要であり、互いに補完・補強しあう関係にあります。

【イメージ図】



【地域福祉に関する計画の比較】

計画	地域福祉計画・地域福祉活動推進計画 (このまちのえがおプラン)	地域福祉活動計画
策定主体	松山市・松山市社協	高浜地区社協
対象地域	松山市内	地区内
実施期間	5年	5年
基本目標 (基本理念)	みんなが参加し つながり支えあう 共生のまちづくり	<海の高浜 福祉はひとつ>
計画の特徴	<p>目標1 支えあいの心を育む</p> <p>目標2 みんなが主役になれる環境づくり</p> <p>目標3 丸ごと支援のしくみづくり</p> <p>目標4 福祉サービスの向上と適切な利用の促進</p> <p>以上の4項目を個別目標に掲げ、住民一人ひとりや住民組織、ボランティアグループ、NPO等の関係団体、学校、事業所等、地域の多様な主体がそれぞれの役割を担いながら、互いにつながり、支えあうことで、“誰もが暮らし続けたい”と思えるまちづくりを目指します。</p>	<p>① 地区社協の基盤整備</p> <p>② 福祉学習とボランティア</p> <p>③ 在宅福祉・生きがい介護予防サービス</p> <p>④ 諸団体との協働・連携</p> <p>⑤ その他</p> <p>の5項目を基本とし、地域性を活かした事業を計画的に展開する。地区社協が中核となって、住民の主体的参加を基本とした地域福祉活動をより計画的・具体的に進めるとともに、地区社協の基盤強化を図る。</p>

地域カルテ



たか はま 高浜地区

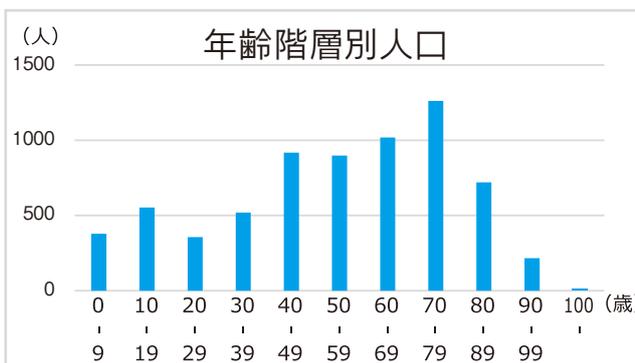
人口: 6,588人 (高齢化率41.5%)
世帯数: 3,464世帯 ※令和7年12月現在

【地区の特色】

松山市の北に位置する高浜地区は、緑濃い山を背景に目の前には穏やかで美しい瀬戸の海を望む自然豊かな地区である。松山の海の玄関としての役割を持ち、文化財にも恵まれている。また、高浜は帯状に長く、北から南まで5kmほどある。以前は農業と漁業のまちであったが、市内中心部にほど近いこともあり、最近では会社勤めの人が多くなってきている。



伊予鉄道梅津寺駅



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、子どもたちへの挨拶や声かけがとても良くてできている ・地域行事への参加が多い(特に祭り好き) ・近隣住民の支援体制ができている ・隣近所の情報がよく分かっている ・タクシーを乗り合わせて買い物に行く近所づきあいがある ・U ターンして住む人や移住してくる若い世代(松ノ木・石風呂)もあり、住みやすく人気の地区である ・防災意識が高い(災害があったので) ・地区内に別荘地がある ・災害時の要援護者の把握ができている ・高浜地区の各種団体の連携がとれている ・食べ物(特に野菜)がおいしい ・移動スーパーが増えた
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会などへの参加者が少ない ・分館、集会所に駐車場がなく、行事への参加がしにくい ・スーパー、病院が少ない ・漁師の跡継ぎが少ない ・ループバスが通っているがバス停が少ないため、駅から離れた地域は交通手段に困る ・公民館の立地場所 ・幼稚園が無くなり小中学生の減少、更に子ども会に未加入が増え祭りができなくなった
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> ・南北に長いので生活状態が異なる ・地区内にスーパーがないため、買い物に不便 ・総合病院が遠いので不便 ・交通手段がないため、タクシーの利用頻度が高い(病院、買い物など)

高浜地区社会福祉協議会

海の高浜 福祉はひとつ

構成団体	地区民協・公民館・町内会連合会・まちづくり協議会・保護司会・自主防災連合会 交通安全協会高浜支部・警察協助手高浜支部・松山市赤十字奉仕団高浜分団 青少年健全育成連絡協議会・おやじの会・PTA・すみれ野ノラねこ対策隊
-------------	---

主な取り組み	活動内容
集いの場の開催	毎月2回、地区内の高齢者施設を会場に地域住民誰でも参加できる集いの場を開催。啓発活動や物づくり、茶話会などを楽しんでいます。
福祉学習事業への支援	毎年、小・中学生とその親を対象とした地引き網や親子スポーツデーに助成し、活動を支援しています。
資源ごみの回収	プルタブ・ペットボトルのフタを公民館で集め、回収団体に届けることで、世界の子どもや障がい者支援を行っています。

友愛訪問（毎年3月1日）

福祉学習事業の一環として、高浜中学校の一年生と民生委員・児童委員が高齢者施設を訪問し、ゲームや話をするなど交流を深める活動をしています。また、中学一年生が独居高齢者の皆さん全員へ手紙を書き、民生委員・児童委員が、それを自宅へ届ける活動をしています。



<地区社協が目指すもの>

高浜地区は、松山観光港がある松山市の海の玄関口であり、また、夏目漱石の小説「坊っちゃん」に出てくる四十島（ターナー島）のある魅力あふれる地区です。最近では少子高齢化が進み、安心して住みよい高浜地区を目指すには、引続き基盤整備を行う必要があります。高浜地区社協・民協・公民館・町内会連合会の諸団体と令和元年度に発足した「まちづくり協議会」との連携強化により、この5年間で高浜地区の活性化が少し前進してきました。今後もこれを継続して誰もが住みやすい地域を目指していきます。また、海の玄関口である地域として、観光客にもいい印象をもってもらえる地域でありたいと思っています。

地区の状況	■地区民協		■町内会・自治会・区長会等	16団体
	民生委員	16名	■高齢クラブ・サロン	6団体
	主任児童委員	2名	■子ども会	3団体
	■まち協の設立	令和元年度	■自主防災組織	16組織

もともと防災意識が高かった地区ですが、防災力ひいては地域力が強化されています。平成30年7月豪雨では、住民が声かけしあい、早期の避難を実現、多数の土砂崩れにも関わらず、人命をまもることができました。この経験を教訓に、地区社協・民協と自主防災組織等の連携作りが行われています。一般的に災害では高齢者や障がいのある人の被災率が高いことから、この地区の取り組みは、全国のモデルとなります。子育て世代の応援体制が作られているのも特徴で、小中学生や親子向けの楽しい地域イベントへの支援を行っています。地区社協によるこのような取り組みや小学校活動への協力は、若い世代が地域に愛着をもつきっかけになっていると考えられます。



高浜地区地域福祉活動計画

1. 基本理念

海の高浜 福祉はひとつ

2. 基本計画

(1) 地区社協の基盤整備

実施計画	年度計画					5年計画
	8	9	10	11	12	
①理事会・総会の開催	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	総会1回(年度始め)を継続して開催する。総会には地区内の各種団体へ出席をお願いする。
②各委員会の開催	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	必要に応じて開催しており、活動の充実、役員同士の連携強化に努める。
③たかはまだよりの発行	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	公民館、まちづくり協議会、地区社会福祉協議会が協働で年2回発行しており、全戸配布を行っている。
④活動資金の確保	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	1世帯50円の全戸会員制により活動資金の確保に努めていく。民生委員の協力のもと、共同募金活動の強化を図る。
⑤地区社協の拠点整備	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	公民館を拠点に活動を行っている。

(2) 福祉学習とボランティア

実施計画	年度計画					5年計画
	8	9	10	11	12	
①小・中学校との交流学習	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	福祉学習の交流事業として、興居島の地引き網、スポーツデー、『私の好きな人の絵』を描いてもらい「たかはまだより」に掲載などを継続して実施する。

②児童クラブとの協力	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	児童クラブとの交流事業（夏：夏祭り、冬：たこあげ）やこども食堂への招待のなど、継続して協力を行う。
③各種団体への支援	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	サロン、各種団体や自主活動グループに対して、助成金を交付し、活動を支援している。
④資源ごみの回収	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	プルタブ・ペットボトルのフタを公民館で集め、回収団体に届けることで、世界の子どもや障がい者支援を行っている。
⑤友愛訪問	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	高浜中学校1年生が民生・児童委員と一緒に、高齢者施設を訪問したり、在宅独居高齢者へお手紙を書いたりし、交流を行っている。
⑥小・中学校の登下校の見守り	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	月2回実施（第2、第4水曜日）している。あいさつや声掛けを行うほか、「こども食堂のおばちゃん」として子どもと交流をしている。道路の危険個所の確認等も行っており、必要に応じて関係機関につなぐ。
⑦地域福祉サービス事業	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	ゴミ出し等地域住民の課題に対し、協力会員や他団体と連携し、サービスの強化に努める。

（3）在宅福祉・生きがい介護予防サービス

実施計画	年度計画					5年計画
	8	9	10	11	12	
①わいわい食堂（地域食堂）への支援	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	毎月1回（第一水曜日）開催。子どもから高齢者まで誰でも利用できる地域食堂への支援を行っている。毎回約250食提供している。
②サロン活動の充実	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	ふれあい・いきいきサロン2カ所、自主活動サロン2カ所の支援を継続して実施し、住民の交流の場の促進に努める。
③高齢者の見守り	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	民生委員が見守りをしているおひとり暮らし高齢者へ残暑見舞い・お年玉・年賀状をお渡しするなど、見守り活動・孤独解消を図っている。
④集いの場	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	毎月2回（第一、第三木曜日）に地域内の高齢者施設を会場に実施。地域住民誰でも参加でき、介護予防や交流を行っている。

(4) 関係団体との協働・連携

実施計画	年度計画					5年計画
	8	9	10	11	12	
①公民館事業との協力	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	今後もより一層の協力体制強化を図る。
②民生児童委員協議会との協力	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	今後もより一層の協力体制強化を図る。
③自主防災会との連携	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	防災訓練に協力するなど、今後もより一層の協力体制強化を図る。
④地域包括支援センターとの連携	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	健康講座・健康相談・独居高齢者の見守りを実施する等、地域包括支援センターとの連携強化を図る。
⑤まちづくり協議会との連携	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	まちづくり協議会との連携を深め、行事への参加協力を行う。
⑥地区内介護施設との連携	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	地区内の介護施設等と連携を深め、地域行事の充実を図る。
⑦高浜小学校 PTA との連携	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	はまっこフェスティバル等、行事への協力を行う。

(5) その他

実施計画	年度計画					5年計画
	8	9	10	11	12	
①空き店舗を活用した子ども主体の喫茶店等への支援	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	地域内の空き店舗を活用し、子どもが運営する駄菓子屋を週3回、喫茶店は長期休暇に開催している。 地域住民の集いの場となっている。
②空き店舗を活用した認知症カフェの開催	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	地域包括支援センターと協力し、認知症の理解促進を行いながら、地域住民の居場所づくりを行う。
③自治連合会（高浜1丁目～6丁目で構成）の活動	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	年3回以上公園清掃等を行い、地域の美化活動に努める。
④わいわい教室への支援	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	週3回公民館で開催。小・中学生を対象に放課後、希望者が参加している。学習支援や居場所づくりへの支援を行う。

高浜地区社会福祉協議会の活動紹介

(1) 地区社協の基盤整備

③たかはまだよりの発行

公民館・まちづくり協議会・地区社会福祉協議会が協働で、年2回3月と10月に全戸配布を行っています。



2023年10月発行第5号



2024年3月発行第6号



2025年3月発行第8号



2025年10月発行第9号

(2) 福祉学習とボランティア

①小・中学校との交流学習

興居島の地引き網 毎年6月高浜小学校・中学校の児童生徒及び保護者、地域関係者約150名～200名（希望者のみ）で、高浜港から興居島へフェリーで渡る交流学習を実施。現地ではハイキングの後、全員で地引き網体験を行い、穫れた魚をその場で料理しみんなで美味しくいただきながら親睦を深めています。



ごごしまハイキング&
地引き網ツアー R7.6.28



スポーツデー 毎年1月～2月、高浜小学校・中学校の児童生徒及び保護者、地域関係者約150名（希望者のみ）が高浜中学校に集まり、ドッジボール・卓球等のスポーツを楽しみながら親睦を深め、最後にみんなでじゃこ天うどんを食べ、心も身体も暖まります。



親子スポーツデー
R7.1.26



青少年健全育成連絡協議会・高浜おやじの会行事

・私の好きな人の絵

毎年夏休みに、高浜小学生が「私の好きな人」の絵を描いて、敬老の日に集会所に展示しています。



②児童クラブとの協力

- ・夏休みに高浜児童クラブの児童が、小学校で、夏祭りのイベントを楽しみます。



かき氷

前日ビショ濡れになってヨーヨーを作ったり…かき氷のシロップは校区内夏祭りの残りをいただいたりして…お陰で子ども達に大好評でした。



ヨーヨー釣り

⑤友愛訪問

- ・毎年3月1日（休校日は順延）に高浜中学校1年生が民生児童委員と共に高齢者施設を訪問し、又在宅独居高齢者へは、心のこもった手紙を届けています。



中学生が高齢者の方々と一緒に、自分達で考えてきたクイズやゲームを通して交流を図ります。みなさん終始笑顔で、とても楽しそうに過ごされていました。



中学生の書いた手紙は、高齢者の方々を笑顔にしてくれます。

(3) 在宅福祉・生きがい介護予防サービス

①わいわい食堂（地域食堂）への支援

- ・毎月1回（第1水曜）開催されるわいわい食堂では、子供から高齢者まで誰でも利用でき、子どもは無料。毎回約250食程度を提供しています。



夏休み・冬休みなど長期休暇の時は、色々なイベントで子ども達と楽しんでいます。

予算も少ない中、
地域の方々からの支えで
メニューを工夫しています。

毎回10名程のボランティアが
手早く、楽しく、和気あいあい
みんなの笑顔を想像しながら
頑張って調理しています。



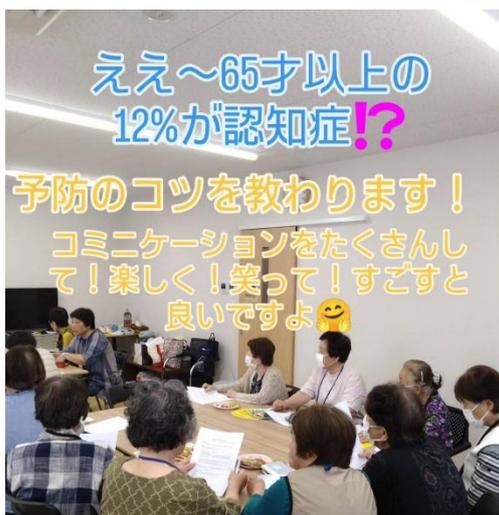
高 浜
わいわい
食 堂

家庭菜園で出来た色々な形の野菜たちも、
元料理人の代表の腕で、美味しい料理に
生まれ変わります!!

④集いの場

- ・毎月2回（第1・3木曜日）
地域内の高齢者施設で実施。
誰でも参加できます。

家から1歩踏み出して、
みんなでお喋りしませんか？



R7.11.6 は干支作りを…

みんな真剣な面持ちで制作に取り組んでいます。



毎回様々なテーマで
研修や制作をして
みんなで有意義な
時間を過ごします。

(4) 関係団体との協働・連携

⑦高浜小学校 PTA との連携

高浜小学校 PTA が Lala 梅津寺の協力を得て「はまっこフェスティバル」
などを開催して、小学生の健やかな成長を地域と共に支えています。



(5) その他

①空き店舗を活用した子ども主体の駄菓子屋・喫茶店等の支援

地域の空き店舗を活用し、毎週3回（月・水・金）に小学生主体で駄菓子屋を開催することで、子ども達の健全育成と社会参加の機会を創出しています。

また長期休暇中には子ども主体の喫茶店を開催し、接客体験や運営体験を通じた学びの場を提供しています。



②空き店舗を活用した認知症カフェの開催

地域包括支援センター三津浜と協力し、空き店舗を活用した認知症カフェを定期的に開催していて、地域住民の憩いの場所にもなっています。

出来ない事を諦めるのではなく、出来る事を見つけ、誰もがいきいきと楽しく過ごせる場になりますように・・・



④わいわい教室への支援

- ・毎週3回放課後に公民館でわいわい教室を開催し、高浜小学校・中学校の希望者を対象に活動。

人格教育・学習支援・食育を柱とし、安心できる居場所づくりを推進しています。



- ・特に食育では、子ども主体の調理体験を取り入れています。



- ・放課後に子ども達がのびのび学べる場所を作っています。



高浜地域学校協働本部・行事

高浜公民館の活動紹介

(1) 高浜地区大運動会

- ・ 毎年5月の第3日曜日に高浜小学校で高浜町民参加により開催される
玉入れ競技 縄跳び競技



競技入場



表彰式



(2) 高浜地区盆踊り大会

- ・ 毎年7月の第4土曜日に6丁目グラウンドで高浜町民参加により開催される水軍太鼓によるオープニング
- 介護施設のみなさんも参加



ちょうちん点灯



お楽しみ夜店



(3) 高浜地区文化祭

・毎年11月の第2日曜日に高浜小学校で高浜町民参加により開催される



空手模範演技



太極拳演舞



園児の寸劇



民謡



ミュージカル (みんなだーいすき)



もちまき



射的



モルック

(4) 高浜地区はたちの集い

- ・毎年成人の前日の日曜日に観光港ターミナルビルで開催される



2026



2025



2024



高浜地区防災の活動紹介

(1) 概要

松山市は全国的にも防災には非常に力を注いでおります。

高浜地区におきましては、平成16年全16町内会に1名の防災士配置を目指して自主防災会を発足させました。翌17年に地区全体をまとめて、高浜地区自主防災連合会を設立しました。

その後防災士の人員充実を進め現在44名の防災士（女性8名）をもって活動しております。

高浜地区では、常に地区全体での活動によって、住民の防災意識向上や地区民生児童委員及び関連団体との連携により、要支援者対策を進めています。

平成30年7月の西日本豪雨による土砂災害では、高浜地区で30カ所以上が被災し、家屋被害が11棟にも及びましたが、早目の声掛けや安全確保により人的被害はありませんでした。

その支援活動が評価され、内閣総理大臣及び国土交通大臣表彰を受けました。

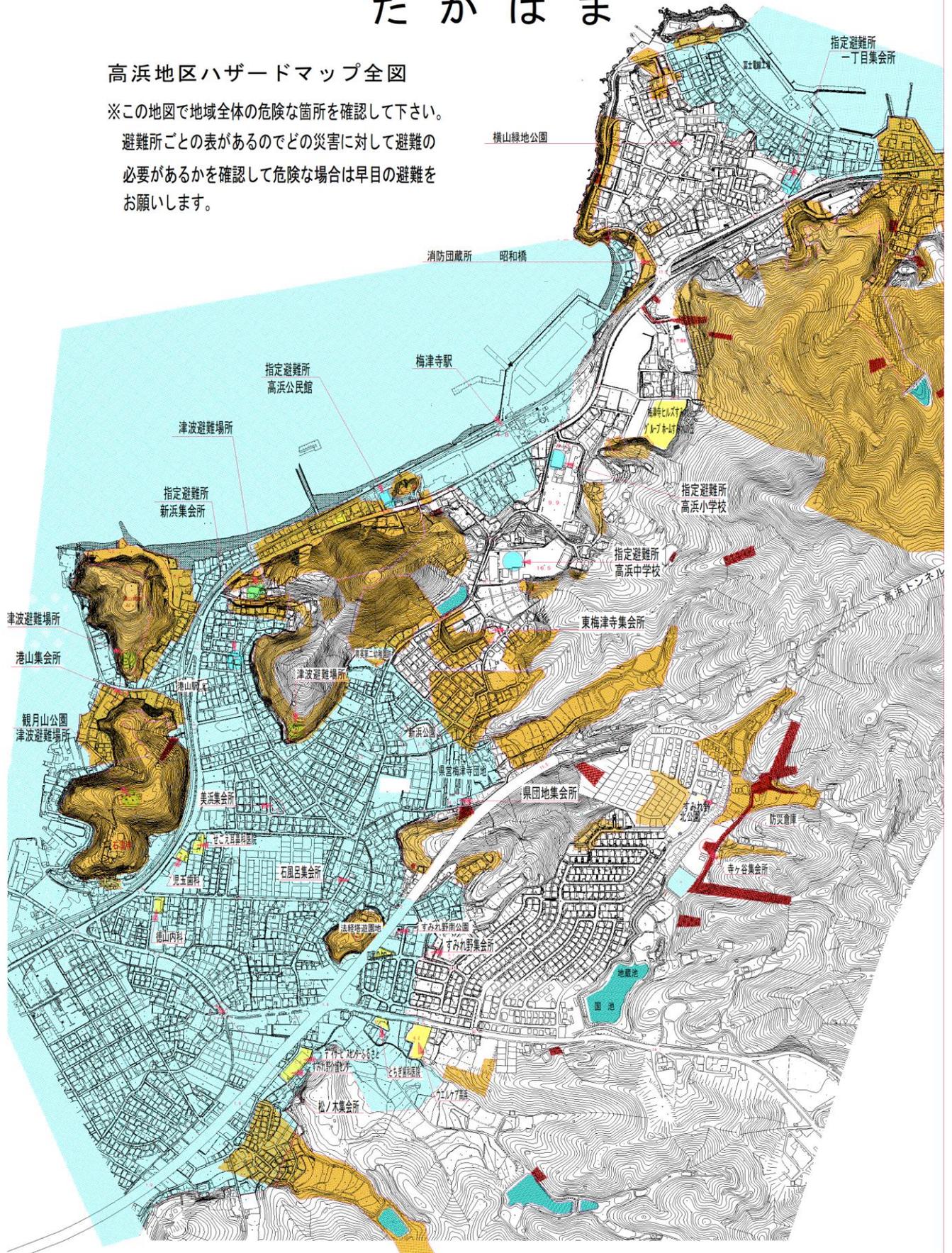
現在は、被災範囲や避難所情報を掲載したハザードマップを更新し、全世帯へ配布しています。

ハザードマップや被災・復興状況を載せておりますので参考にいただければ幸いです。

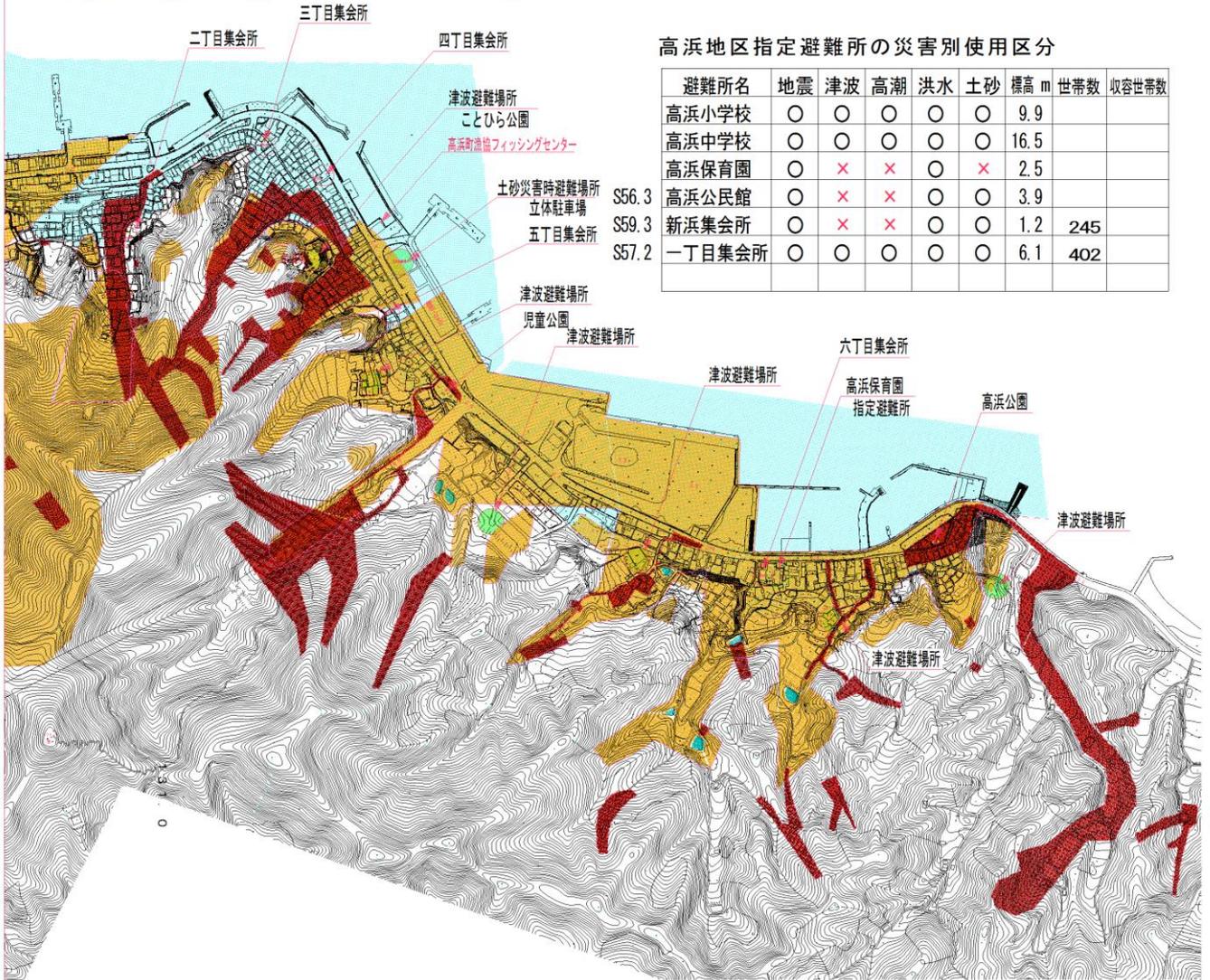
たかはま

高浜地区ハザードマップ全図

※この地図で地域全体の危険な箇所を確認して下さい。
避難所ごとの表があるのでどの災害に対して避難の
必要があるかを確認して危険な場合は早目の避難を
お願いします。



ぼうさいマップ



高浜地区指定避難所の災害別使用区分

避難所名	地震	津波	高潮	洪水	土砂	標高 m	世帯数	収容世帯数
高浜小学校	○	○	○	○	○	9.9		
高浜中学校	○	○	○	○	○	16.5		
高浜保育園	○	×	×	○	×	2.5		
S56.3 高浜公民館	○	×	×	○	○	3.9		
S59.3 新浜集会所	○	×	×	○	○	1.2	245	
S57.2 一丁目集会所	○	○	○	○	○	6.1	402	

ハザードマップ 凡例

- 土砂災害警戒区域 急傾斜地・土石流 山腹崩壊・流出
- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- ため池
- 病院・施設
- 山腹崩壊箇所
土石流出範囲 7月豪雨時
- 津波浸水想定区域 5m以下を表示

高潮の最高潮位は2.75m（平成3年台風19号時）
建築基準法の耐震基準はS56年以降の建物に適用

指定避難所以外の使用区分

建築年	避難所名	地震	津波	高潮	洪水	土砂	標高 m	世帯数	収容世帯数
S60.7	寺ヶ谷集会所	○	○	○	○	×	29.0	18	
S60.7	すみれ野集会所	○	○	○	○	○	5.5	526	
S61.2	松ノ木集会所	○	×	△	○	○	1.2	472	
S63.3	石風呂集会所	○	×	○	○	○	1.6	271	
S47.3	県団地集会所	×	×	○	○	○	4.0	111	
S52.2	東梅津寺集会所	×	○	○	○	○	12.2	96	
S49.2	美浜集会所	×	×	×	○	○	1.5	114	
S63.3	港山集会所	○	×	×	○	×	2.4	62	
S63.3	二丁目集会所	○	○	○	○	△	7.9	62	
S56.3	三丁目集会所	○	×	○	○	○	3.4	63	
H2.3	四丁目集会所	○	×	×	○	×	3.1	68	
S49.4	五丁目集会所	×	×	○	○	×	3.8	114	
S58.3	六丁目集会所	○	×	×	○	×	2.5	122	
	観光港立体駐車場	○	×	○	○	○	10.0		

高浜地区における災害発生

* 西日本豪雨での土石流被害（平成30年7月6日～7日）と復興状況

三、四丁目墓地、水路、道路被災状況



同復興完了（上流に砂防ダム築造）



金刀比羅神社裏斜面崩壊



同斜面補強法柵工事完了



高浜トンネル上部斜面崩壊



上部補強工事完了



(2) 学校連携の防災活動紹介

①高浜小学校5年生防災まち歩き

- ・毎年11月に5年生がまち歩き（自分の町内）を行い防災マップを作成活動を継続している。参加は生徒、担当教師と協力者として、市民防災安全課、防災リーダークラブ、高校生防災士、地区防災士、保護者有志が参加し、防災資料を収集する。持ち帰った資料を各町内ごとの防災マップとして編集し、後日発表会を行い参観日や文化祭で展示し地域のみなさんに見てもらう活動。

まち歩き



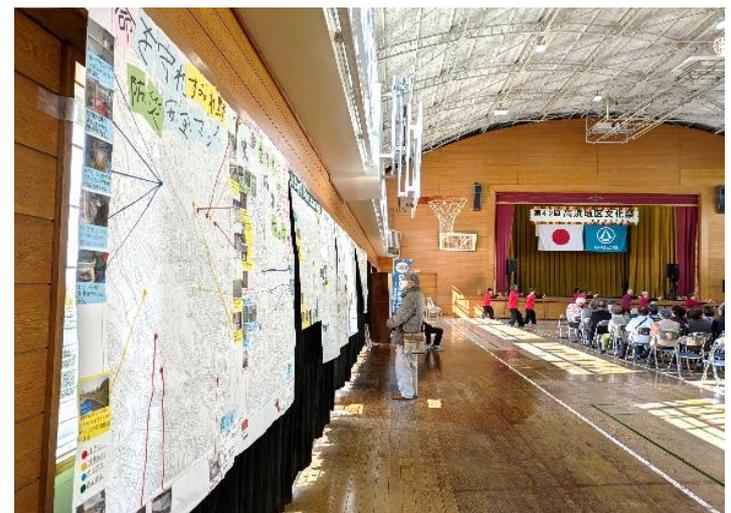
作成状況



発表状況



文化祭でのマップ展示



②高浜中学校防災

- ・ 未来を考える日の防災編に全校生徒、職員、自主防災会、西消防署、消防団高浜分団が参加。
- 訓練時間 9時から12時までの間に生徒を数ブロックに分け各訓練種目を順番に体験している。
- 訓練種目 ・ 防災講座 ・ 避難シューター体験 ・ 煙体験 ・ 初期消火
・ ロープワーク ・ 119番通報 ・ 資機材取り扱い ・ 避難所設営

避難用シューター体験



初期消火（粉末消火器）



避難所設営訓練 テント・ベッド



資機材取り扱い 簡易担架・応急担架



煙体験



119番通報訓練



ロープワーク



防災講座



高浜地区の 神社・仏閣



梅津禅寺(梅津寺町)

江戸時代に松山藩主が招いた中国出身のせつけん禅師が、故郷の中国・梅津(ばいしん)に似ていることから、この地(松山市)に創建して名付けたという。



湊三嶋大明神社(港山町)

往古より住民並びに航海を業とする者など、伊予の熱田津、成田津、秋田津の総守護神、三津大明神として尊崇し、湊大明神とも称え、後に湊三嶋大明神とされた。

地域の平和と安全をいつも見守ってくれています



龍神社(高浜町 6 丁目)

古くから白石龍神社と称え五穀漁業の神として尊崇厚く、諸普請は郡方が行い大祭をはじめ祭祀は郡代官が出張して奉行したという。



金刀比羅神社(高浜町 4 丁目)

松山藩の鎮守として崇敬され、海上安全・豊漁・家内安全にご利益がある神社で、特に「高浜の金刀比羅さん(こんぴらさん)」として親しまれているが、香川の総本宮「金刀比羅宮(こんぴらさん)」とは別の神社。

高浜地区地域福祉計画策定委員会の開催状況

1.委員会メンバーの選定

27ページに掲載

2.策定委員会の開催

策定委員により話し合い、各事業の評価と課題をあらいだし、5年計画を検討。

名称		開催日時	参加者	内容	場所
策定委員会	第1回	R7.9.10 (水) 13:00~15:00	策定委員7名 社協より2名	地域福祉活動計画について 役員の選任について	高浜公民館
	第2回	R7.10.21 (火) 13:30~15:00	策定委員10名 社協より1名	計画書表紙の検討 5年計画の協議 内容の検討	
	第3回	R7.11.19 (水) 13:00~15:00	策定委員10名 社協より2名	5年計画の協議 内容の検討	
	第4回	R8.1.21 (水) 13:00~15:00	策定委員10名 社協より2名	5年計画の協議 活動計画書全体の構成・ 内容の検討	
	第5回	R8.2.20 (金) 10:00~11:30	策定委員10名 社協より2名	活動計画書の最終確認	

個々の事業等を一つ一つ委員長が説明し、メンバーによるワークショップ方式で実施。



R7.9.10



R7.10.21



R7.11.19



R8.1.21



高浜地区地域福祉活動計画策定委員名簿

役職	氏名	備考
委員長	水野 庄市	地区社協会長
副委員長	大野 精子	地区民協会長
副委員長	土井 信一	地区社協事務局長
書記	大濱 多加	民生委員
委員	岡崎 洋子	地区社協援護部長
委員	澤田 千尋	民生委員
委員	山下 寿里	地区社協啓発調査部長
委員	蔭原 政徳	地区自主防災連合会会長及び 公民館館長
委員	仲矢 文和	高浜地域学校協働本部代表
委員	加形 静香	Lala梅津寺代表及び 高浜地域学校協働活動推進員

(R7.11.30現在)



高浜地区第2期地域福祉活動計画

発行：高浜地区社会福祉協議会

《問い合わせ先》

松山市社会福祉協議会 地域支援課

〒790-0808 松山市若草町8番地2 松山市総合福祉センター内

Tel 089-941-3828 / FAX 089-941-4408

発行日：令和8年4月